

「よく働き、よく休む」 愛と自由に生きる⑤

出エジプト記20章1～17節



最初の三つの戒めは、神様に対するふさわしい信仰姿勢を私たちに求めました。それが私たちの生活の土台であるからです。続いては、そのように生きようとする者は「安息日を聖なるものとする」ことが大事だと命じます。同時に、それが続く「殺すな、姦淫するな、盗むな…」という戒めの求める生き方へと導くのだと教えます。

この戒めを、ただ単に主日礼拝厳守の戒めに狭めてしまってはなりません。これはコロナ後の私たちがよく考えるべきテーマです。

① 礼拝と生き方を安息がつなぐ

“安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。” 8

“それは主が六日間で、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造り、七日目に休んだからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものとした。” 11

② 仕事をして、そして休んで、完成する

“六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。” 9

“神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ。」”

創世記1:27-

“神はご自分が造ったすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。夕があり、朝があった。第六日。”創世記1:31

③ 真の安息を得るために

“七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、またあなたの町囲みの中にいる寄留者も。” 10

“あなたは自分がエジプトの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、主が力強い御手と伸ばされた御腕をもって、あなたをそこから導き出したことを覚えていなければならない。それゆえ、あなたの神、主は安息日を守るよう、あなたに命じたのである。”

申命記5:15

<話し合ってみましょう>

- ・安息を得るということを具体的にどのように実行していますか。話し合ってみましょう。
- ・安息に関する戒めが、前半の神を神とする戒めと、後半の殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな…という戒めの間にある意味について考えてみましょう。